

用語解説（下水道）

【ア】	
営業外収益	金融財務活動やその他主たる営業活動以外の原因から生じる収益のことで、下水道事業においては、長期前受金戻入や他会計からの補助金等が該当する。
営業外費用	金融財務活動に要する費用や主たる営業活動以外の活動によって生じる費用のこと。
営業収益	地方公営企業の主たる営業活動により発生する収益のこと。
営業費用	主に営業活動によって生じた費用のことで、人件費や減価償却費等が含まれる。
汚水処理原価	有収水量 1 m ³ あたりの汚水処理に要した費用のことで、汚水維持管理費（管渠費、ポンプ場費、処理場費 など）と汚水資本費（汚水に係る企業債等利息及び減価償却費）に分けられる。

【カ】	
改築	既存の施設を新たに置き換えたり、施設の一部を活かしながら部分的に新しくして所定の耐用年数を新たに確保すること。
管きよ	下水を収集し、排除するための排水管。
官庁会計方式	現金の収入及び支出の事実に基づいて経理する現金主義の会計方式のことで、「単式簿記」を採用している。
企業債	地方公営企業が行う建設改良事業などに要する資金に充てるために起こす地方債（国などからの長期借入金）のこと。
緊急輸送路	災害が起こったときに緊急車両の通行を確保すべき重要な路線のこと。
繰出基準	一般会計が負担すべき経費の算定基準であり、公費と私費の経費負担区分における公費負担経費の基準を表したもの。繰出基準は毎年度国から通知が出されている。
繰延収益の償却	補助金等により取得し又は改良された償却資産の減価償却等に伴い繰延収益を償却すること。
経常収支比率	当該年度において、下水道使用料や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度まかなえているかを表す指標のこと。
経費回収率	下水道使用料で回収すべき経費を、どの程度下水道使用料で賄えているかを表した指標であり、使用料水準の妥当性を評価することが可能。
下水道施設	雨水や汚水を排除するための施設のこと。主に管路施設や処理場、ポンプ場等がこれにあたる。
下水道使用料	下水道サービスを使用したことに対してお支払頂く使用料であり、一般的には水道の使用水量をもとに算定し、水道料金とあわせて徴収される。
下水道処理人口	下水道を使用することができる区域に住んでいる人の数のこと。
下水道処理人口普及率	全体の人口のうち、どのくらいの人が下水道を使えるようになったかを示す割合。
減価償却	固定資産の価値は次第に減少していくため、固定資産の原価を費用に配分する手続きのこと。

ケツバクハク 減価償却費	減価償却に伴って計上する費用のこと。実際にお金を支払うものではないため、「現金を伴わない支出」とされている。
コウエイキョウ 公営企業	地方公共団体が、住民の福祉の増進を目的として設置し、経営する企業のこと。上・下水道や市立病院、市営バス等がある。
コウエイキョウカクタイ 公営企業会計	現金の支出の有無にかかわらず経済活動の発生という事実に基づいて経理を行うという発生主義による会計方式で、「複式簿記」を採用している。
コウキョウヨウスイキ 公共用水域	河川、湖沼、港湾などの公共の用に供される水域、およびこれに接続する水路のこと。
コウシツ 更新	既存の施設を新たに取り替えること。
コクサリサシヤクイキョウ 国立社会保障・人口問題研究所	国勢調査の結果をもとに、人口や世帯数の将来推計や社会保障費に関する統計等を行っている機関のこと。
コテイシヤツ 固定資産	企業が保有している資産で、具体的な物である「有形固定資産」、法律上の権利等を示す「無形固定資産」等がある。固定資産のうち、減価償却すべきものを「償却資産」という。

【サ】

ザイカクシヤツ 財源試算	財源ごとに、確保する手段と見通しをとりまとめて「財源試算」という。経費回収率の向上や、費用の固定、変動の見直し等、財務体質の改善についても考慮することが望ましい。
シヤクコウカイカク 事業計画	下水道事業における事業計画は、全体計画に定められた施設のうち、5～7年間で実施する予定の施設の配置等を定める計画のこと。
シキ 資金	事業の運営や経営を行っていくなかで使用される金銭のこと。
シラコウカイカク 市総合計画	ここでは、門真市の社会情勢・経済情勢の変化に伴う市民ニーズや課題に対応するためにまとめられた計画のことを指す。
シライリソク 支払利息	企業債等の借入金により支払うこととなる利息。営業外費用に含まれる。
シキョクシヤツ 資本的収支	収益や費用にあたらないうして収益的収支に計上しないもの。資産の購入・構築、補助金の受領、企業債の借入や償還等。
シキョクシヤツ 収益的支出	1 事業年度の営業活動に伴って発生するすべての支出のこと。
シキョクシヤツ 収益的収支	1 事業年度の企業の経済活動に伴って発生する全ての収益とそれに対応する全ての費用を意味し、一般的に赤字・黒字といわれるものは、この収支のこと。
シキョクシヤツ 収益的収入	1 事業年度の営業活動に伴って発生するすべての収入のこと。
シキョクシヤツ 受益者負担	下水道は処理区域に住んでいる人のみが利用できるという特性があるため、直接利益を受ける者に対し、その利益の範囲内で事業費の一部を負担して頂くこと。
シキョクシヤツ 償却対象資産	減価償却すべき固定資産のことで減価償却資産ともいう。
スイキョクシヤツ 水洗化人口	処理区域内において、実際に公共下水道や農業集落排水に接続して汚水を処理している人口のこと。

スイレンカリヲ 水洗化率	下水道を使用することが可能な人口（下水道処理人口）に占める実際に下水道を使用している人口（水洗化人口）の割合のこと。
ストックマネジメント	長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行った上で、施設の点検・調査、修繕・改築等を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化すること。
センタイカイカリ 全体計画	下水道事業における全体計画は、各マスタープランに定められた目標等に基づき、将来的な下水道施設の配置計画を定めた計画のこと。
リウチイラシントウ 想定地震動	想定しうる範囲内での地震動のこと。
リンエキカクヨウヨウリョウキョウ 損益勘定留保資金	減価償却費などの「現金を伴わない支出」により、企業内に留保される自己資金のこと。

【タ】

チホウコウエイキョウ 地方公営企業	地方公共団体が経営する事業のうち、地方公営企業法の適用を受けるもの。
チホウサイ 地方債	地方公共団体が資金調達のために借り入れることによる債務で、その償還が一会計年度を超えて行われるものをいう。地方債を起すことを起債と呼ぶ。
チョウキマエウケン 長期前受金	減価償却を行うべき固定資産の取得または改良に充てるために受け入れた補助金や負担金のこと。「繰延収益」として整理される。
チョウキマエウケンレイニョウ 長期前受金戻入	繰延収益の償却に伴い計上する収益のこと。実際にお金が入るものではないため、「現金を伴わない収入」とされている。
トウシヨサン 投資試算	投資等の優先順位付け、平準化等による合理的な投資試算を取りまとめること。優先順位付けに際しては、投資試算の目標や施設などの重要性、老朽化度合、事故発生時の影響等を勘案する。
トウリササンセイ 独立採算制	公営企業は、「その経費を当事業収入をもって充てることとし、自律性をもって事業を継続していく」といった考え方。

【ナ】

該当なし	
------	--

【ハ】

ピーディーシーイー PDCAサイクル	業務プロセス管理手法の一つで、Plan（計画）-Do（実施）-Check（検証）-Action（見直し）の4段階を繰り返すことによって、継続的な改善を目指していく手法。
ホウテイタイヨウネンズウ 法定耐用年数	法律に定められた会計法上の資産の耐用年数を指す。※この年数を過ぎると使用できないということではない

【マ】

マンホール	地下に埋められている設備（水道管や汚水用の配管、火災発生時の貯水槽、消火用の水道管、ガスの配管など）を点検・管理するために人が出入りする穴のこと。
マンホールトイレ	下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するもの。

【ヤ】	
有形固定資産	形の有る固定資産のこと。管路施設や処理場施設もこれにあたる。
有収水量	下水道使用料徴収の対象となる水量。
有収率	下水道事業においては、処理した汚水水量のうち、使用料徴収の対象となった有収水量の割合のこと。
予防保全型	損傷が発生してから対応する対症療法型管理ではなく、損傷の推移を適切に予測し事故の発生を未然に防ぐことを目的としている。

【ラ】	
ライフサイクルコスト	「設計～竣工～運用～修繕～処分」までに要する費用のこと。Life Cycle Costの頭文字を取って「LCC」とも呼ばれる。
ライフライン	生活をするための基盤となるもの。「電気、ガス、水道、下水道、交通、通信」等が挙げられる。
リスク評価	各施設についてのリスク（危険度の大小）を捉え、優先順位をつけていく手法。
流域関連公共下水道	主として市町村が管理する下水道のうち、流域下水道に接続するものをいう。
流域下水道	2以上の市町村からの下水を受けて処理するための下水道で、下水を最終的に処理するための終末処理場と管きよから構成される。

【ワ】	
該当なし	